

📎 家庭学習のポイント 📎

長井市立長井南中学校

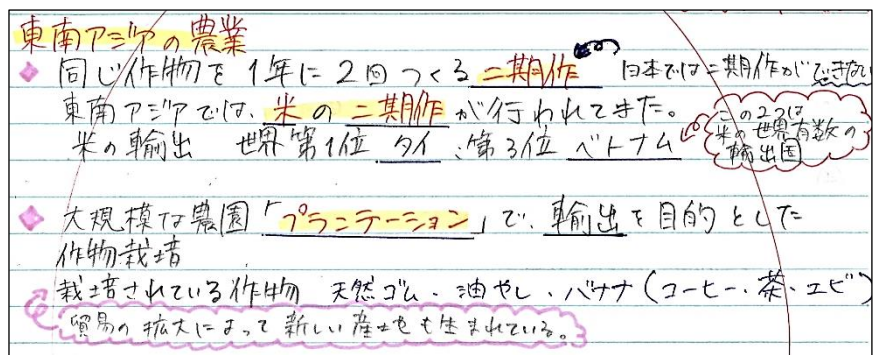
【国語】

- 「漢字」は、つけ・とめ・はらいを正確に書く。
最初の1回目に書く時に、書き順を意識して丁寧に書き、覚えること。
- 「文法」は、定義や大事なところにはマーカーを引くなど、覚えるように工夫すること。
また、読むだけでなくノートに書くことで、知識として定着する。
問題を繰り返し解くことで、基礎が身につく。
- 「文章で答える問題」（「〇〇字で書きなさい。」）は、諦めずに取り組むこと。
まず、外してはいけない「重要語句」や「ひとまとまりの内容」を見つける。
次に、その内容の前後を考える。
最後に、文字数を整える。（与えられた文字数の9割以上で満点対象となる。）
- 「詩」は、視写するの、よい。
その上で、使われている表現技法や型式を書き込む。

【社会】

- 教科書の太字の語句をノートに書きだして、語句の説明をまとめる。語句は漢字で正しく、間違わないように書こう。
- 去年のワークを繰り返して解く。ワークの答えが見えないように折り返して、ノートには問題は書かずに答えのみ書くと効率が良い。2回繰り返しても間違ってしまう問題は、問題文と答えをノートに書こう。

- 地理は、教科書を読んで、世界は州ごと、日本は地方ごとに次の点についてノートにまとめよう。
 - ・地形の特色
 - ・気候の特色
 - ・さかんな産業



- 歴史は、教科書を読んで、時代ごとに次の点についてノートにまとめてみよう。
 - ・政治の特色
 - ・文化の特色
 - ・外国との関係
 - ・できごと（戦争、事件、運動、一揆、革命、改革など）

【数学】

<ステップ1 ドリル学習>

2. 例 $(+6)+(-4)-(+3)-(-2)$ 加減同士の式に直す。

$= (+6)+(-4)+(-3)+(-2)$ 各項の中心をそろえる。

$= (+6)+(+2)+(-4)+(-3)$ 同符号の項を括弧でまとめる。

$= (+8)+(-7)$

$= +1$

(1) $(-5)+(-3)-(+1) = (-5)+(-3)+(-1)$

$= -9$

(2) $(+8)-(+2)+(-9) = (+8)+(-2)+(-9)$

$= (+8)+(-21)$

$= -13$

(3) $(-2)+(+3)-(-5)+(-6)$

$= (-2)+(+3)+(+5)+(-6)$

$= (+3)+(+5)+(-2)+(-6)$

$= (+8)+(-8)$

$= 0$

★教科書やワーク、学習プリントなどで、解き方を確認し、例題としてまとめる。

★例題の手順に沿って問題を解いてみる。

- *途中の式を丁寧に書く。
- *丸付けをして確認する。

<ステップ2 ワークやテストの間違い直し>

14) $\sqrt{7}(\sqrt{4}-\sqrt{2}) = \sqrt{28}-\sqrt{14} = \sqrt{2}\sqrt{7}-\sqrt{2}\sqrt{7}$

これは分配する。1つづつは別々に解いていく。

17) $(2\sqrt{5}+3)(\sqrt{5}-4) = 2\sqrt{5}\times\sqrt{5}+2\sqrt{5}\times(-4)+3\sqrt{5}-12$

$= 2\sqrt{5}\times\sqrt{5} = 2\times 5 = 10$ に変わる。

$= 10-8\sqrt{5}+3\sqrt{5}-12$

$= 10-5\sqrt{5}-12$

$= -2-5\sqrt{5}$

2つと2つは全く別の式だから、ここはわり。

2 $\sqrt{5}\times\sqrt{5}$ + $2\sqrt{5}\times(-4)$ + $3\sqrt{5}$ - 12

式がまだ少ないように見えて、頭の中を整理しながら!!

(8) $(\sqrt{5}-\sqrt{7})^2 = a^2-2ab+b^2$ の式を使う。

$= (\sqrt{5})^2 - 2\times\sqrt{5}\times\sqrt{7} + (\sqrt{7})^2$

$= 5 - 2\sqrt{35} + 7$

$a^2-2ab+b^2$ にあてはめる。1つづつ -2ab + 2ab 関係なく、ただ数字をあてはめる。

★教科書やワークの解説を参考に、間違えた問題を解き直す。
*ポイントを自分の言葉で書き込む。

★なぜ間違えたのかを分析する。

<ステップ3 自分の力で解けるようになるまで繰り返す>

① まちがった所だけもう一回解いて、本当はわかっていたか確認する。

1. (3) $(-3a)^2 \times 2b \div (-2a^2)$

$= 9a^2 \times 2b \div (-2a^2)$

$= \frac{18a^2b}{-2a^2} = -9b$

(4) $\sqrt{27}-\sqrt{2}(\sqrt{6}-1)$

$= \sqrt{27}-\sqrt{2}\times\sqrt{6}-\sqrt{2}\times(-1)$

$= \sqrt{27}-\sqrt{12}+\sqrt{2}$

$= 3\sqrt{3}-2\sqrt{3}+\sqrt{2} = \sqrt{3}+\sqrt{2}$

★ひっ算など、解くために書いた自分のメモは残しておきましょう。

★繰り返すことで定着します。

次の日にもう一回やってみるなど、時間を置いてから解き直すのも効果的です。

【理科】

方法1 まとめ学習

- ① 「教科書」や授業で使用している「ノート」「プリント」を見て、大切なところを自学ノートに書き出してまとめる。
- ② 観察や実験などは、操作順に絵で描き、大切なところを文章で書き加える。

例1

★ 茎のつくりとはたらき
 ☆ 茎は、植物の葉で太陽の光が、あたる高い位置に支えるはたらきをもつ。
 下、葉と根との間にある茎は、水や養分を通すはたらきをもつ。
 茎や根には、水などの通り道である道管と、葉でつくられた養分の通り道である篩管がある。
 道管と篩管の集まりを維管束という。
 葉にも維管束があり、葉の維管束は、葉の葉脈の中にある維管束と根の維管束をつないでいる。

葉脈
 ネット脈
 平行脈
 輪生脈
 散生脈

例2

① 被子植物の体のつくりの特徴をまとめる

被子植物の体	葉(葉脈の形)	茎の維管束	根
① 双子葉類	平行脈	(2) に分布	(3)
② 単子葉類	網状脈	(5) に並び	主根と(6)

方法2 ドリル型くり返し学習

『重要語句』

- ① 「教科書」で太字になっているところや授業で使用している「ノート」「プリント」の中で大切な言葉に挙げられているものを自学ノートに書き出す。
- ② 正しい漢字で、繰り返して書いて覚える。

例

双子葉類 双子葉類 双子葉類 双子葉類 ...

二酸化炭素 CO₂ 二酸化炭素 CO₂ 二酸化炭素 CO₂

方法3 問題演習学習

『ワークや計算問題』

- ① ワークやプリントの問題を繰り返し解いてみる。
- ② 丸付けをして、間違ったところは、ワークやプリントの問題の番号にチェックを入れ、あとでもう一度解いてみる

P2 ~ P7 の 5(12)

①	みづからな... けるため	②	(2) ① = C. 胚珠
(1) ① = 胚珠	(6) 見える篩管か	(2) 受粉	③ = D. 子房
(2) ②	広くなり観察	(3) 子房	(3) 胚珠が子房の中にある植
(3) ① = ①	する養分を見	(4) 胚珠	(4) ① = ①
② = ②	みつける	(5) 種子植物	④
(4) ①	(7) ① = ②	④	(1) ① = ①
(5) ①	② = ②	(1) 虫媒花	(2) ①
④	暗い	(2) 風媒花	(3) 花を動かす

問題文は、書かないで、ひたすら答えを書いていく！
 間違ったところは、ワークの問題番号に CHECK!

【英語】

〈1年〉

- アルファベット、曜日、月、数字(1~20、30、40、50、60、70、80、90、100)を言えるように、声を出して練習しよう。
- 担任の先生からテキストをもらったら、それに取り組み、重要ポイントなどをノートにまとめよう。

〈2, 3年〉

- 文法を覚えるには、
 - ① テキストやワークにある文法の解説を、自分がわかりやすいようにまとめると、理解しやすい。
 - ② まとめたあとに、その文法を使った練習をする。テキスト、ワークの答えを隠して、ノートに書こう。わからなかったら、自分のまとめに戻ろう。
- 単語の意味を覚えるには、例文ごと書いて、文の意味も書くと効果絶大。
- 単語のスペリングを覚えるには、
 - ① 声に出しながら書くとよい。
 - ② 数回書いたら、自己テストしてみよう。書けないところがわかるはず。
- 文を書けるようになるには、日記を書いてみるのはどう？
自分で分量を決めて、その日にやったことを書いてみよう。同じような毎日でも、たくさんのことを行っているはず。難しかったら同じ文を書いても力がついてくる。